

事業所名

済生会明和病院なでしこ（居宅訪問型児童発達支援）

支援プログラム

作成日： 2026 年 5 月 1 日

法人（事業所）理念		みんなを笑顔に。ともに歩み、ともに育ち、ともに生きる。							
支援方針		・利用者の安全と安心を基本とし、個々の成長や特性、個性に合わせた活動プログラムを提供します。 ・「その人らしさ」を大切に、良いところを引き出しながら心身の発達に繋がる支援を提供します。 ・一人ひとりの「やりたい、やってみたい」という意欲を大切に、楽しみながら共に成長できる環境作りを目指します。							
営業時間		9 時	分から	17 時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・利用前に電話等で保護者へ家庭や健康状態を確認し、必要に応じて訪問を行います。 ・リズム遊び等を取り入れ、発達段階に応じて体力維持や運動機能の向上を支援します。 ・生活リズムに配慮し、保護者と相談しながら活動時間を調整します。							
	運動・感覚	・体操や感覚運動遊びを通して、姿勢保持や運動機能、筋力の維持・向上を支援します。 ・粗大運動や感覚遊びを通して、五感を活用しながらバランス感覚や身体調整能力の向上を図ります。 ・遊びや活動を通して感覚統合を促し、集中力や持続力、コミュニケーション能力の発達を支援します。 ・季節や場面に応じた遊びを取り入れ、安全に楽しく経験の幅を広げられるよう支援します。							
	認知・行動	・視覚・聴覚・触覚等を活用し、絵や写真、文字等を用いて認知機能の発達を支援します。 ・創作活動等を通して、数・大小・色などの認知形成を促します。 ・感触遊びを通して、様々な質感の違いを体験し、感覚の認知発達を支援します。 ・創作活動や季節の活動を通して、興味や感性の発達を支援します。							
	言語 コミュニケーション	・活動や関わりの中で言葉に触れる機会を増やし、自発的な発声を促します。 ・自分の気持ちや要求を伝える経験を通して、意思表示の力を育てます。 ・遊びを通して人と関わる楽しさや基本的な関わり方を支援します。 ・玩具のやり取り等を通して、「どうぞ」「ありがとう」など社会性のある言葉や行動の習得を支援します。							
	人間関係 社会性	・コミュニケーションを通して信頼関係を築き、安定した関係形成を支援します。 ・模倣や関わりを通して遊びの幅を広げ、社会性や対人関係の発達を支援します。 ・活動や遊びを通して達成感を得られる経験を積み重ねられるよう支援します。							
家族支援		・半年に1回、児童発達支援管理責任者が訪問し、保護者面談を行います。 ・家庭での状況や本人の状態を聞き取り、困りごとに対する助言を行います。 ・きょうだい児との関わりにも配慮しながら、療育活動を提供します。				移行支援		・保育所等の関連機関と連携し、情報連携を実施します。 ・環境変化に伴う課題提示及び課題解決に向けた実践を行います。	
地域支援・地域連携		・関係機関の連携会議に参加し、情報共有や役割の確認を行いながら支援体制を整えます。 ・関係機関からの情報をもとに、日常場面における関わり方や対応方法を提案します。				職員の質の向上		・緊急バス勉強会（2回/年）：緊急時の対応、心臓蘇生訓練等 ・e-ラーニング ・OFF-JT、新人研修、感染症対策等の内部研修の実施 ・法定研修(接遇、虐待防止、人権等) ・県社協のキャリアアップ研修 ・県外：日本重症心身障害福祉協会、心身障害児総合医療療育センター主催の研修等	
主な行事等		・誕生日会等							